

ご挨拶

大会会長 中村 正弘



第34回全国少年少女剣道優勝大会並びに第31回全国高校生剣道優勝大会を宗家のご臨席のもと東京武道館において開催できますことを大変嬉しく、心強く思います。

昨年の東日本大震災により未曾有の被害を被った被災地では、未だ復興が思う様に進んでおりません。今なお不自由な生活と厳しい環境下にありながら出場された選手・保護者の皆さまの剣道に寄せる熱い思いと、多くの関係者の皆さまのご理解ご協力のお陰で本大会を開催することができますことに対しまして、厚く感謝と御礼を申し上げます。

“小学生、中学生、高校生の剣士の皆さん！”

あなたは剣道を好きですか？ 剣道は楽しいですか？

自分にとって好きな事、楽しい事をしている時は、他の事を忘れて夢中になります。何事にも一生懸命に行動するのは良いことであります。

最近、携帯等でメールやゲームに夢中になっている人を良く見かけます。歩きながら、自転車に乗りながら、周りの方の動きを気にせず夢中でやっております。しかし、あまりに夢中になりすぎると自分自身は楽しいかも知れませんが、周りの人に心配を掛けたり迷惑になるようなことが多くあります。つまり、自分の行動は、相手方若しくは周りの人々に少なからず影響を及ぼすということを考えるべきです。自分が満足感を得るだけのそのような行動は、予期せぬ事故を誘発する大変危険な行為でもあります。

剣道は、日ごろの練習の段階から、相手の技や周囲の動きとも調和させながらお互いに心と技と体を高めていけるように考えられております。

練習においても常に相手の行動を想定しながら、はっきりした目標を立てて剣道の技を展開して参ります。その目標は、絶えず動きと時間と共に変化しており固定されたものではありません。その変化していく目標の状態に対応できる能力が養えるようになっております。

学校での勉強と剣道の練習を行うことで、健康な体と豊かな心を育て、友達とも仲良く、楽しく意義ある毎日の生活ができるようになることを期待しております。

本大会で多くの仲間との友情や絆を深め、練習を重ねてきた自分に自信を持って最後まであきらめず健闘されますようお祈り致します。